

水土里ネットおおいた

土地改良広報 No.350

大分県土地改良事業団体連合会 第68回 通常総会



後列左より 辻野部長 田北総括 永野室長 笠口元理事 上野事務局長 加藤常務理事
前列左より 細田理事 是永副会長 藤澤理事長 義経会長 後藤理事長 小山副会長 日小田筆頭理事

Contents

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 02 義経会長 新年度挨拶 | 10 県の職員配置 |
| 03 石井農林水産部長のご挨拶 | 連合会の職員配置 |
| 04 トピックス | 11 連合会 各所属長の紹介 |
| ・賀来中尾地区キク栽培施設整備事業竣工式 | 13 退職者の紹介 |
| ・大分県大区画化等推進協議会 設立総会を開催 | 新規採用職員の紹介 |
| ・全国水土里ネットが通常総会並びに表彰式を開催 | 15 令和7年度 資格取得者紹介 |
| 06 会議・要請活動 | 16 第12回大分県土地改良振興大会開催 |
| ・令和7年度第3回監事会及び第4回理事会 | のお知らせ |
| ・大分県畑地かんがい施設対策推進協議会 | |
| 令和7年度要請活動 | |
| ・県ため池工事検討会議と大分ため池技術研究会(施工部会) | |
| との意見交換会を(2月17日)開催 | |
| ・土地連九州協議会 会長・事務責任者会議 開催 | |
| ・第68回通常総会が開催される | |

4
2026
April



会長 新年度挨拶

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経 賢二

陽春の候、会員並びに関係者の皆様方におかれましては、日頃より土地改良事業の円滑な推進と農業・農村の振興、並びに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、農業構造転換集中対策の開始、新たな土地改良長期計画と第一次国土強靱化実施中期計画の策定と農政にとって節目の年となりました。また、近年続く物価上昇や資材価格の高騰に加え、米をはじめとする食料を巡る動きが社会的な関心を集める中で、「食」と「農」を安定的に支える基盤の重要性が高まっていると感じています。一方で、農業者の高齢化や減少により、農業の継続やそれを支える農地や農業用水の保全管理等が難しくなるなど、農業・農村を取り巻く環境は大きく変化しています。これらの問題を解決するためには、「大区画ほ場整備」や「スマート農業に対応した基盤整備」、また「中山間地域におけるきめ細やかな整備」をスピード感を持って進めていかなければなりません。本会としましても多様化する業務へ対応するための人材育成や、計画部を中心に会員の皆様からの生産基盤の整備・保全に必要な要望を聞き取り、事業の企画を行い、会員が求める事業の推進を迅速化していきたいと考えています。

次に、今年度の農業農村整備事業関係予算は、当初予算では4,504億円、令和7年度補正予算を含めて6,942億円（対前年比100.9%）が確保されました。これもひとえに会員であります土地改良区、市町村のご協力ご支援によるものです。更には、二階全土連会長をはじめ、全国水土里ネット会長会議の進藤金日子顧問など多くの方々のお力添えのおかげだと思っております。この場をお借りして感謝申し上げます。

最後になりますが、今後も『「水」「土」「里」の資源を、次世代に』の思いを胸に業務執行に努め、県をはじめ関係機関との連携を図り、会員の皆様の利益増進につながる事業活動を積極的に展開する所存でございます。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。



石井農林水産部長のご挨拶

大分県農林水産部

部 長

石 井 聖 治

本年度より、大分県農林水産部長に就任いたしました石井でございます。よろしくお願いいたします。
水土里ネット大分の皆様、並びに会員の皆様におかれましては、平素より本県農林水産業の振興に多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、現在の農林水産業を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えております。国は四半世紀ぶりの食料・農業・農村基本法の改正を皮切りに、食料・農業・農村基本計画の策定や土地改良長期計画の見直しを行うなど、今後の農業農村整備事業を推進すべく環境整備を進めてきたところです。また、既に議論が始まっている水田政策の抜本的な見直しは、本県農業に対しても重大な影響をもたらすものであり、迅速かつ戦略的な対応が求められています。

本県が直面する課題は複合的です。担い手の高齢化や人口減少の本格化により、農業従事者の減少が加速しております。多様化する市場・消費者ニーズ、多発化・激甚化する自然災害等への対応が求められるとともに、持続可能な農業への転換が急務であり、農業農村整備事業が果たす生産基盤の整備がますます重要性を増しております。

特に、農業水利施設における水管理は、県土の保全や多面的機能の発揮に直結する重要な役割を担っています。農業を基幹産業として維持・発展させるためには、質の高い生産基盤の整備が不可欠であり、農村地域全体の持続可能性を支える根幹となるものです。

県では、令和6年9月に「おおいた農林水産業元気づくりビジョン2024」を策定しています。農業農村整備事業は、本県農業の成長産業化を目指す上で、その礎と位置付けており、昨今の国際情勢の不安定化により先が見通せない状況下にあっても、柔軟性と強靱性を備えた取組を推進することが重要です。

まずは、「大規模園芸団地の整備」に向けた取組です。令和15年度までに県内各地の21地区を重点推進地区として、園芸基幹品目の生産拡大面積600haを目標に取組を進めており、農業産出額が5年連続で増加するなど、着実に成果が現れています。多様化するマーケットニーズへの対応や元気な担い手の確保・育成を実現するため、今後も重点的に取組を進めていきます。

次に、「災害に強い生産基盤の整備」です。防災重点農業用ため池の計画的な整備や農業水利施設の適正な更新整備は、気候変動への対応と持続可能な農業への転換を実現する重要な施策であることから、県としてもしっかり取り組んでまいります。

さらに、農業経営の規模拡大、スマート農業などの先端技術の導入、農村地域における多面的機能の維持・向上も農業農村整備事業と一体となって推進していきます。

農業農村整備事業が果たす役割への期待はより一層高まっています。本県農業の成長産業化に向けて、これまで以上のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

最後に、水土里ネット大分のますますのご発展と、会員の皆様のご活躍をご祈念申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

✚ 賀来中尾地区キウ栽培施設整備事業竣工式

2月24日（火）、大分市賀来中尾地区において整備が進んでいたキウ栽培施設が完成し、関係者出席のもと竣工式が行われた。

当地区では、農業従事者の高齢化による農地荒廃が危惧されていた中で、生産拠点の拡大を考えていた(有)お花屋さん ぶんご清川（豊後大野市）が、当地の立地条件の良さに着目し企業参入することを決定した。

参入企業は、地域内の農地約2haにおいて、キウ栽培用ハウス6棟と育苗用ハウス3棟、集出荷施設からなる生産体制を整えた。基盤となる農地整備では、県営水田畑地化推進基盤整備事業を活用し、区画整理や客土、用排水路整備を実施した。

ハウス内ではすでに生産が開始されており、今後、年間240万本を県内外へ出荷し、1.8億円の産出額を見込んでいる。



完成したキウ栽培施設

✚ 大分県大区画化等推進協議会 設立総会を開催

今後、農村では著しい農業者の減少・高齢化が進むことから、少ない担い手で効率的な営農を可能とする農地の大区画化を強力に推進することが重要となっている。このため国は、土地改良長期計画に基づき、農業構造転換集中対策期間（令和7年～令和11年）において、1ha以上の大区画化を推進する「大区画化等加速化支援事業」を創設した。

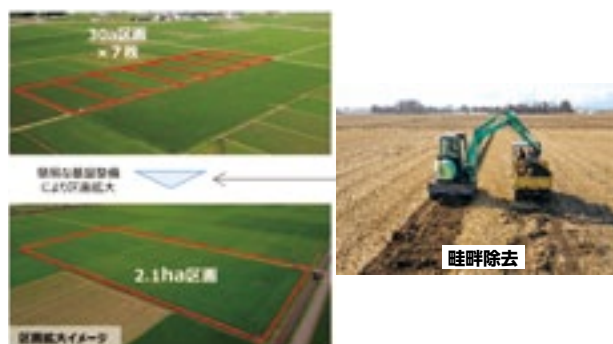
本事業は、農業者等が行う簡易な基盤整備を支援するもので、県や市町村を經由せず、県内に設置する協議会が補助事務を担い、迅速な事業推進が可能な制度となっている。

これを踏まえ、本県では令和8年3月16日（月）、県や宇佐市、農業団体で構成する「大分県大区画化等推進協議会」を設立した。総会では規約制定のほか、会長を県土連加藤常務、事務局を県土連とする体制を承認し、市町村単位でワーキンググループを設置する方針も示された。

令和8年度は宇佐市蜷木地区を第1号地区として事業着手予定であり、今後も関係者が連携し、要望量調査等を通じて早期事業化を推進していく。



大分県大区画化等推進協議会設立総会状況



大区画イメージ図

❖ 全国水土里ネットが通常総会並びに表彰式を開催

3月25日（水）、全国水土里ネット（二階俊博会長）は東京都の全国都市会館において第68回通常総会を開催した。

議事では、令和7年度から5年間で集中的に農業の構造転換を推進する国の施策に沿い、土地改良推進のための援助を機動的に行えるよう理事を1名増員する定款の一部改正など、11議案が全会一致により承認された。

総会后、会場をシェンバッハ・サボーに移し全国水土里ネット表彰式が開催され、第67回全国土地改良功労者等表彰と農業農村整備優良地区コンクールが執り行われた。大分県からは第67回全国土地改良功労者等表彰の農林水産大臣表彰として荻柏原土地改良区。全国水土里ネット会長表彰として、団体（野津土地改良区）、個人（宇佐土地改良区 大森博理事長、初瀬井路土地改良区 安部雅己理事長、玖珠町土地改良区 武石俊一理事長、世利川井路土地改良区 佐藤直元事務長）が表彰された。

農業農村整備優良地区コンクールでは、国東市の安国寺地区が農業振興部門で全国水土里ネット会長賞を受賞した。安国寺地区は、農地耕作条件改善事業により圃場の造成や排水対策を行い、オリーブの栽培に適した大規模な農地の確保、作業効率の向上や機械化を図り、企業参入による担い手不足の解消につなげる等、大分県が目指す「元気な担い手」が地域をけん引し、収益性の高い「元気な産地」が形成され、さらに新たな担い手を呼び込むといった好循環を生み出す活動が評価された。



全国水土里ネット 第68回通常総会



第67回全国土地改良功労者等表彰
(広瀬政務官との記念写真)

広瀬政務官を囲んで右より

玖珠町土地改良区 武石理事長、
野津土地改良区 佐藤理事長、
荻柏原土地改良区 佐藤理事長、
宇佐土地改良区 大森理事長、
世利川井路土地改良区 佐藤元事務長



全国水土里ネット 表彰式

会議・要請活動

●令和7年度第3回監事会及び第4回理事会

2月5日（木）、第3回監事会が開催された。

令和7年度の補正予算案、令和8年度の当初予算案について審議いただき、第4回理事会に諮る旨の承認を受けた。最後に、川野総括監事が国の動向も確認しながら健全な運営に努めていただきたいと述べ監事会を終了した。

2月16日（月）に第4回理事会が開催された。令和7年度の補正予算案と令和8年度の当初予算案、また第68回通常総会の提出議案について審議され、いずれも原案どおり承認された。最後に県農林水産部の森迫参事監より、農業農村整備事業に関する情勢報告について情報提供をいただき、理事会を終了した。



第4回理事会

●大分県畑地かんがい施設対策推進協議会 令和7年度要請活動

パイプラインやスプリンクラー等の畑地かんがい施設を保全管理する土地改良区で構成された「大分県畑地かんがい施設対策推進協議会（会長 小山一善 須ノ原土地改良区理事長、8土地改良区）」は、去る令和8年2月9日（月）、浏野県農林水産部長に対して、畑地かんがい施設の調査及び更新整備に係る予算確保について要請活動を行った。

冒頭、小山会長から「突発事故復旧対策事業の要件緩和」「スペア資材の備蓄制度の創設」等、協議会がこれまで取り組んできた要請活動の成果とともに、県への謝辞を述べられた。

なお、今回の要請内容としては、昨今、全国各地において道路下や大口径のパイプラインが破裂する突発事故が多発していることを踏まえ、「県内農業水利施設における緊急点検の実施」、さらには、「調査結果に基づく計画的な更新整備に必要な予算確保」の2点について要望を行った。

県からは、「国道・県道等の幹線道路、JR路線の周辺、大口径管水路において突発事故の発生により社会的な影響の大きい箇所について、できる限り速やかに劣化状況等の調査を行い、それを踏まえた計画的な更新整備にも努めていきたい」と回答をいただいた。

現在、気候変動により渇水・高温が頻発化する中で、畑地かんがい施設の重要性はますます高まっている。当協議会においては、引き続き、県や市町村と連携を図りながら、健全な畑地かんがい施設の維持管理に努めるとともに、安定した農業用水の確保・供給により、県が積極的に推進している「大規模園芸団地づくり」に対して生産基盤の面からしっかりフォローしていきたい。



浏野県農林水産部長への要請

● 県ため池工事検討会議と大分ため池技術研究会（施工部会）との意見交換会を（2月17日）開催

平成29年に設立した大分ため池技術研究会は、現場の工事・施工管理等の課題の声を研究会活動に反映させるため、令和5年8月に施工業者会員21者による「施工部会」を発会した。3年目を迎え施工実績のある業者の研究会加入が促進され、施工部会員は44者となった。

今回、施工現場が抱える課題の解決に向け、初めて実務者レベルで、県ため池工事検討会議（県職員内部会議）とため池研究会（施工部会）が、共有・検討すべき課題について意見交換会を開催した。双方の担当者とも非常に活発で忌憚のない意見交換ができ、今後に向け実のある有意義な場となった。

【意見交換の主な内容】

1. 地山との取付部の調査ボーリング等について
2. 管理の簡素化について（①現場透水試験、②現場密度試験、③盛土管理基準の見直し）
3. 二次製品の活用による効率化（洪水吐、底樋、斜樋等）について
4. 遮水シート工法について
5. 施工性を考慮した設計について
6. 土砂吐け・斜樋工の鉄筋工事について



開会の挨拶
大分ため池技術研究会
吉田徹哉施工部会長（株別所商事 専務取締役）

● 土地連九州協議会 会長・事務責任者会議 開催

3月17日（火）令和7年度土地改良事業団体連合会九州協議会会長・事務責任者会議が宮崎県にて開催された。

事務責任者会議では、令和8年度九州協議会政策提案要請について、各県の専務・常務理事が中心となり、要請項目について議論がなされた。また、引き続いて開催された会長・事務責任者会議においては、九州農政局 細井農村振興部長より来賓あいさつをいただき、山本設計課長が「農業農村整備の情勢について」、新開土地改良管理課長より「水土里ビジョン策定推進状況」及び「維持管理に関する支援施策の実施状況」の情勢報告がなされた。



会長・事務責任者会議

●第68回通常総会が開催される

3月24日（火）、土地改良会館大会議室において第68回通常総会を開催した。来賓として佐藤樹一郎大分県知事、緒方和之九州農政局長の代理として小野寺慎司九州農政局次長、淵野勇大分県農林水産部長にご臨席いただいた。

総会に先立ち土地改良事業に功績のあった土地改良区会員個人13名、県関係個人3名をそれぞれ表彰した。受賞者を代表し、会員個人表彰の志生木土地改良区の藤澤嘉一理事長より謝辞をいただいた。

総会では、本会の義経会長が「政府は2025年から2029年までの5年間で農業構造転換をしていくために基本計画を立てている。安定した米価を考慮した効率化により、生産コストをいかに低減していくかということであるが、具体的には農地を3反区画から1町区画へ農地の大区画化を行い、生産コストの低減。担い手不足や高齢化問題の対策としてスマート農業を推進。また、中山間地域対策として中山間地域直接支払制度、あるいは多面的機能支払制度など中山間地域の農地も守っていくという姿勢。予算もついており、この5年間は農業の構造を転換していく大事な5年間になる」とあいさつした。

来賓の佐藤県知事、小野寺農政局次長は「農業を取り巻く環境は厳しく、世界状況を見ても国内で農業を発達させる重要性を感じるところである。スマート農業機器導入や生産基盤を強化していくことにより負担を抑え、中山間地域も含めより収益の上がる作物へと転換し産地の形成に取り組んでいきたい」など祝辞を述べられた。

続いて総会の議事では、議長に並石土地改良区の日浦勝彦理事長が選任され、提案した9つの議案が原案どおり承認された。

なお、第4号議案定款の一部変更では、当会の役員任期は4年としているが、昨今の農業情勢の変化（農業構造転換集中対策）を視野に入れ、会員の意思をより連合会運営に反映させ、機動的な対応、並びに組織運営を図っていくため、役員任期を2年に変更することについて全会一致で承認された。

また、第9号議案役員の補欠選任では、銓衡委員会により来年度から空席となる佐伯ブロックの理事の補選を行った。同委員会では佐伯ブロックより加藤宗義理事長（小田井堰土地改良区）が銓衡され、その後、総会にて銓衡委員長の森田勝祐理事長（朝地町土地改良区）が銓衡結果報告を行い全会一致で承認された。



会場の様子

提 出 議 案

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 第1号議案 | 令和6年度事業報告並びに一般会計、特別会計決算及び財産目録の承認について |
| 第2号議案 | 令和7年度中間監査の報告について |
| 第3号議案 | 令和7年度一般会計並びに特別会計収入支出補正予算の承認について |
| 第4号議案 | 定款の一部変更について |
| 第5号議案 | 賦課金の賦課並びに徴収方法について |
| 第6号議案 | 令和8年度役員の報酬決定について |
| 第7号議案 | 令和8年度事業計画並びに一般会計、特別会計収入支出予算（案）について |
| 第8号議案 | 令和8年度一時借入金の限度及び余裕金の預入先の決定について |
| 第9号議案 | 役員の補欠選任について |

1. 個人表彰

(1) 土地改良区会員の部

管内	氏名	所属団体名	職名	年齢	経験年数
高田	きのした まさはる 木下 正治	石河内溜池土地改良区	理事	76歳	19年
日出	まえだ しろう 前田 史朗	藤原土地改良区	理事	66歳	20年
大分	まさき としのり 牧 利則	初瀬井路土地改良区	総代	80歳	22年
	ふじさわ かいち 藤澤 嘉一	志生木土地改良区	理事長	82歳	21年
臼杵	のなか てるみ 野中 輝美	野津土地改良区	理事	72歳	10年
佐伯	うすい さとみ 臼井 定美	小田井堰土地改良区	理事	82歳	13年
三重	ごとう まさひで 後藤 匡豪	西原土地改良区	理事長	63歳	12年
	ひの だ ひろやす 日小田 浩康	昭和宮三土地改良区	筆頭理事	61歳	12年
竹田	あそ きたむね 麻生 定	城原井路土地改良区	理事	83歳	17年
玖珠	の だ たかし 野田 隆	九重土地改良区	理事	61歳	19年
日田	うえの ゆきえ 上野 幸枝	日田市土地改良区	事務局長	64歳	16年
中津	はそ だ はるよし 細田 春義	大井手堰土地改良区	理事	80歳	15年
宇佐	うけぐち たかし 釜口 孝	安心院土地改良区	元理事	77歳	15年

(2) 県関係功労者

氏名	所属団体名	職名	年齢	勤続年数
ながの かずのり 永野 和範	農林水産部工事技術管理室	室長	60歳	38年
たきた しげひろ 田北 茂広	豊肥振興局豊後大野水利耕地事務所	課長補佐（総括）	60歳	38年
つじの やすひろ 辻野 泰弘	北部振興局農林基盤部	部長	59歳	35年



あいさつを述べる義経賢二会長



祝辞を述べられる佐藤県知事



受賞者代表謝辞を述べられる藤澤理事長



進藤金日子参議院議員のビデオメッセージ

部署名	職名	氏名
【農林水産部】	部長	石井 聖治
	審議監（農政担当）	信貴 竜人
農地計画課	部参事監兼課長	森迫 光晴
	農地計画監	菅原 貴美
	参事（総括）	瀬川 幸弘
	課長補佐（総括）	香嶋 秀史
	課長補佐（総括）	木村 勝博
	主幹（総括）	山崎 久裕
農地・農村整備課	課長	小林 康二
	参事（総括）	辛島 光彦
	課長補佐（総括）	河野 幸治
	課長補佐（総括）	渡邊 敬介
	課長補佐（総括）	濱田 和樹
	主幹	秋篠 雅子
大分県央飛行場 管理事務所	所長	村山 奉勝
農林水産企画課	課長補佐（総括）	谷 博文
工事技術管理室	室長	坂元 大輔
	主幹（総括）	田中 正浩
【東京事務所】	参事	甲斐崎 一成
【土木建築部】		
工事検査室	参事（総括）	灘波 悦史
	課長補佐（総括）	甲斐 和広
【東部振興局】		
農林基盤部	局長	遠山 実
	次長	小野 裕二
	部長	本田 豊治
	課長補佐（総括）	佐保 貴之
	主幹（総括）	矢野 誠也
日出水利耕地 事務所	所長	法野裕二郎
	課長補佐（総括）	中野 篤史
	課長補佐（総括）	小崎 智
	課長補佐（総括）	黒岩 聡
	主幹（総括）	小玉ひとみ
	主幹（総括）	吉良 賢太
【中部振興局】		
農林基盤部	局長	渡邊 仁
	次長	高森 文明
	部長	佐藤 広光
	課長補佐（総括）	佐藤 洋祐
	課長補佐（総括）	坂本 淳一
	課長補佐（総括）	野上 康則

部署名	職名	氏名
	主幹（総括）	飯田 照康
	主幹	田北 茂広
	主幹	谷 鈴奈
【南部振興局】		
農林基盤部	局長	工藤 伸仁
	次長	宮添 春彦
	部長	小山 隆宏
	課長補佐（総括）	麻生 春治
	主幹（総括）	工藤 博昭
【豊肥振興局】		
農林基盤部	局長	山本 勝紀
	次長	伊東 浩
	部長	都留 俊明
	課長補佐（総括）	工藤 政彦
	課長補佐（総括）	小野 貴史
	主幹（総括）	赤嶺 康信
豊後大野水利 耕地事務所	所長	末廣 理
	課長補佐（総括）	木田 俊吉
	主幹（総括）	吉田 友春
	主幹（総括）	伊東 孝浩
大野川上流開発 事業事務所	所長	衛藤 博司
	課長補佐（総括）	牧 徹
	課長補佐（総括）	豊福 博記
	主幹（総括）	甲斐 智之
	主幹（総括）	井上 伸也
	主幹	後藤 恵史
【西部振興局】		
農林基盤部	局長	小野 高寛
	次長	藤澤 央通
	部長	諫元 伸宏
	課長補佐（総括）	亀井 正彦
	課長補佐（総括）	有延 滋
	主幹（総括）	園田 耕司
【北部振興局】		
農林基盤部	局長	金子 成人
	次長	梶原 琢也
	部長	古武 史弥
	課長補佐（総括）	池上 正人
	課長補佐（総括）	御領園 進
	主幹（総括）	隈田 慎一
	主幹（総括）	渡邊 祐樹
	主幹（総括）	平野 雄志
	主幹	中島 浩二

部署名	職名	氏名
総務部	部長	鶴成 厳
総務課	総務部次長 兼総務課長	馬場啓四郎
総務係	課長補佐	工藤 寛嗣
	主任	宇都宮弘樹
経理係	技師	久保 拓登
	主幹	首藤 英介
	技師	岩尾 翔太
情報管理課	課長	秋吉 克則
情報管理係	主任	福田 達
	技師補	安藤 朔也
水土里情報係	技師補	中津留颯太
	技術員	中野 静花
計画部	部長	中城 英利
企画課	課長	阿南 貴章
事業企画係	課長補佐	安部 俊郎
	主任	山田 翔太
	技師	杉安 珠羽
会員支援課	課長	佐藤 公博
会員支援係	課長補佐	藤田 義昭
	主査	十塚 弘一
	主任	吉岡 桂介
	主任	松田 伸也
ため池保全サポートセンター	センター長(兼)	中城 英利
	主査	江田 敏寿
	技術員	赤木 悠人
整備部	部長	清水 寿和

部署名	職名	氏名
農村整備課	整備部次長 兼農村整備課長	河野 浩一
	課長	麻生 晶広
	主査(派遣)	赤嶺 孝輔
調査設計係	主任	中村 貴輝
	主任(派遣)	東 兵樺
	主任	高山 遼大
	主任(派遣)	克実 束野
	技師	甲斐 颯人
	技師	園田 大典
	技術員	宮迫 裕晟
災害対策課	課長	伊東 哲士
技術支援係	主幹	松本 浩一
	技師	松本 陽葵
	技術員	麻生 拓海
	技術員	新城 榮人
調査測量係	技師	白須 大和
	技師	田北 拓巳
換地測量課	課長	麻生 賢正
	課長補佐	重光 宏昌
	課長補佐	工藤 大介
	主任	林 智光
	技師	首藤 宏志
	技師	野村 捷斗
	技師補	諸富 愛武
	技術員	園南寺龍乃祐
	技術員	越智慎ノ介
換地係	主任	清家 大志
	主任	前田 侑希
	主任	水澤 陵甫

部署名	職名	氏名
(北部国営対策班)	課長補佐	佐藤 祐樹
	主査	増岡 樹信
中部事務所	所長	大石慎一郎
調査設計課	課長	阿南圭一郎
調査設計係	技師	幡手 幹也
	技師	野元 由翼
南部事務所	所長	大塚 景介
	次長	板井 正信
調査設計課	主査	西川 真
調査設計係	主任	藤原 大輔
	主任	幡手 貴一
	技師補	児玉 堅
	技師補	赤峰 慶俊
西部事務所	所長	宮尾 文康
調査設計課	課長	梅本 隆男
調査設計係	主任	塗木 一輝
	技師補	有永 望叶
北部事務所	所長	河野 智弘
	次長	佐々木光治
調査設計第一課	課長	岡部 真一
調査設計係	主任	古庄 巧
	主任	平野 祐揮
	技師	北田 圭佑
	技師	藤縄 愛大
	技師	柴田 享兵
調査設計第二課	課長	小川 剛
調査設計係	主任	山本 勇樹
	主任	福田 良貴
	技師	小野 光佑
	技師	藤澤 匠真

水土里ネット大分 各部課所長の紹介



●総務部 部長 鶴成 徹

3 部体制へと機構改編し2年目となります。総務部は、計画部、整備部との連携を密に行い会の健全な運営はもとより、迅速な会員支援を通して会員の皆様のご要望に添えるように努力してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



●計画部 部長兼ため池保全サポートセンター長 中城 英利

計画部は、企画課、会員支援課、ため池保全サポートセンターの3 部署体制で、それぞれの専門性を活かしながら、事業化への円滑な推進、会員皆様への支援、ため池の適切な保全に取り組んでまいります。

今後とも関係機関と連携を図りながら、会員からの要望等に迅速かつ的確な対応に努めてまいります。

引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



●整備部 部長 清水 寿和

整備部としては、本会職員の技術力の一層の向上を図るとともに、迅速かつ的確な災害対応が可能となるよう、人材育成にも力を注いでまいります。

あわせて、新たな技術の導入・開発にも積極的に取り組み、会員の皆様の多様なご要望にお応えできるよう、全力を尽くす所存です。

本年度も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



●総務部 次長兼総務課長 馬場 啓四郎

総務部次長兼総務課長 2 年目となります。

総務課は、会の運営や総務全般の業務に加え、総会や理事会、各種協議会といった会議を行っております。

本年度も総務課ワンチームとなり、職員や会員の皆様方の期待に応えられるよう努力していく所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。



●整備部 次長兼農村整備課長 河野 浩一

このたびの異動により整備部次長兼農村整備課長を拝命致しました。その責務の重さを改めて痛感している所です。農村整備課では、パイプラインなどの農業用施設の調査、農業集落排水事業の計画・実施設計や新技術の研究等を行う調査・設計部門として業務を行っています。皆様方のご要望等の対応に職員一丸となり、より一層努力して参ります。今後ともよろしくお願い致します。



●情報管理課 課長 秋吉 克則

情報管理課は、情報管理係（積算システム運用管理・工事図書電子化等）及び水土里情報係（水土里情報システム運用保守・問合せ対応等）の業務を行っています。

併せて、県下67団体が加盟する「大分県水土里情報センター推進協議会事務局」も担っており、課員全員で皆様のご要望にお応えできるよう努力してまいります。



●企画課 課長 阿南 貴章

計画部企画課は、新規事業計画等の窓口を担う部署であります。加えて、令和7年度より創設されました簡易な農地整備等を行う大区画化等加速化支援事業の協議会事務局として、皆様のご要望にお応えできるよう全力で対応して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。



●会員支援課 課長 佐藤 公博

計画部会員支援課は、課員4名で、連合会の二本柱の一つである会員支援として会員の皆様による各種相談への対応や機能強化支援事業、多面的機能支払などの各種補助事業に取り組んで参ります。また、今年度も土地改良相談、会計相談や法改正に伴う諸問題へ迅速な対応を行いながら、会員皆様の支援になるよう出先事務所と連携を図りながら努力して参ります。



●災害対策課 課長 伊東 哲士

災害対策課は、これまでの大規模災害を踏まえ、全職員による災害復旧対応が可能な支援体制を目指しています。また、災害実務研修会の開催を通じ「技術力の向上・育成支援」において積極的な取り組みを行い、会員皆様のご要望に添えるよう一層努力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



●換地測量課 課長 麻生 賢正

換地測量課では県内一円の測量業務、換地業務及び業務に係る情報の収集や提供など行っております。

本年度も職員連携を図りながら会員及び関係各位のご要望に沿えるよう努めて参ります。何卒よろしくお願い致します。



●中部事務所 所長 大石 慎一郎

中部事務所は、大分市・由布市・臼杵市・津久見市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。総勢5名の事務所ではありますが、会員の皆様方のご要望に丁寧に対応させていただきます。本年度もよろしくお願いいたします。



●南部事務所 所長 大塚 景介

南部事務所では、佐伯市・竹田市・豊後大野市における農業農村整備事業の計画・調査測量設計業務を行っています。会員の皆様を第一に考え、農業農村整備事業の向上に、職員一丸となり努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



●西部事務所 所長 宮尾 文康

西部事務所では、日田市・玖珠町・九重町における農業農村整備事業を行っております。職員数4名と少数な事務所ですが、会員の皆様方のご要望に真摯に対応させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



●北部事務所 所長 河野 智弘

北部事務所では、中津市・宇佐市・豊後高田市・国東市・姫島村・杵築市・日出町・別府市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。職員総勢13名で会員支援並びに事業推進に取り組み、会員皆様のご要望にお応えできるよう努力して参ります。

長い間おつかれさまでした

令和8年3月31日付けで、伊藤信二ため池保全サポートセンター長が退職されました。長年にわたり、大分県の農業農村整備事業並びに連合会の発展に対して、ご尽力いただき誠にありがとうございました。今まで大変お疲れ様でした。



令和8年度新規採用職員の紹介



総務課 いわお 岩尾 しょうた 翔太

この度、新規採用されました岩尾翔太です。

別府大学国際経営学部国際経営学科を卒業しました。地元の農業や地域を支える仕事に携われることを、大変嬉しく思います。まだ分からないことも多いですが、一日でも早く業務を覚え、皆様のお役に立てるよう努力をしてみたいです。地域の発展と農業の維持に貢献できるよう精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いします。



情報管理課 なかの 中野 しずか 静花

この度、新規採用されました。中野静花です。

国東高校環境土木科を卒業しました。これから沢山のことを学び、仕事に活かしながら、連合会に貢献できるよう頑張りたいと思います。

また、社会人として挨拶や礼儀など、自分にできることをしっかりと身に付けていきたいです。

分からないこともあります。精一杯頑張りますので、これからご指導のほどよろしくお願いします。



企画課 すぎやす 杉安 しゅう 珠羽

この度、新規採用されました杉安珠羽です。宮崎大学農学部森林緑地環境科学科を卒業しました。土木の知識はありませんが、地元である大分県の農業の発展に貢献できる人材になれるよう努力します。

考えても分からないときはすぐに先輩方に質問し、いち早く問題解決することを心がけます。



農村整備課 そのだ だいすけ
園田 大典

この度、新規採用されました園田大典です。宮崎大学農学部森林緑地環境科学科を卒業しました。大学では測量やGISなどの学習をしていたので、それを土地連で十分に生かされるように頑張りたいです。尊敬できる先輩を見つけて、あとに続けるよう精進していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



災害対策課 しんじょう はると
新城 榮人

この度、新規採用されました。新城榮人です。土木科で学んだ経験を活かし、地域への感謝を忘れず行動していきたいと考えております。まだ未熟ではありますが、一日でも早く連合会の支えとなれるように努力を重ねていきます。周囲との繋がりを大切にし、信頼される存在になりたいです。これからのご指導のほど、よろしくお願いいたします。



換地測量課 のむら はやと
野村 捷斗

この度、新規採用されました野村捷斗です。

大分県の地域の皆様の農業や環境を支えたり、地域農業の発展に貢献したいと思っています。

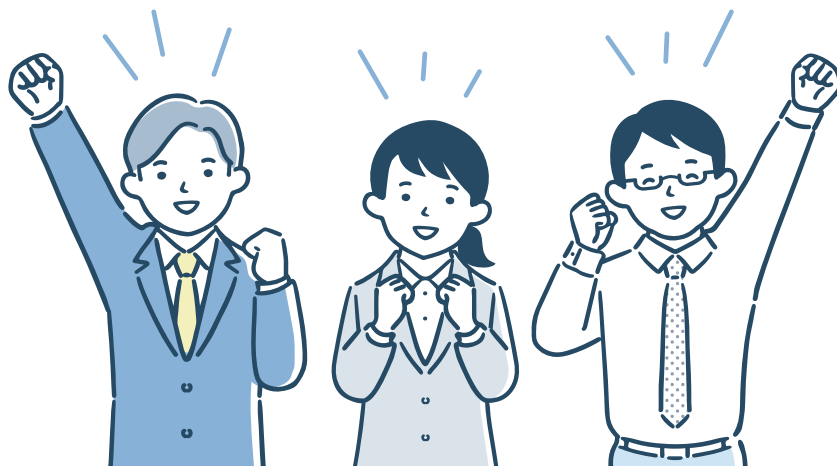
最初は、分からないこともあると思いますが、一つひとつ学びながら少しでも早く貢献していきたいと思いますのでご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。また、これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちをもって、頑張りたいと思います。



換地測量課 おち しんのすけ
越智 慎ノ介

この度、新規採用されました越智慎ノ介です。

大分県立津久見高校を卒業しました。高校時代は主に商業を学び、農業や土木は初めてなので、これからの研修や、農業や土木の現場で学び、地元大分県への恩返し、支えてくれた周りの人に恩返しできるよう、少しでも早く連合会の一員になれるように努力し頑張っていきます。これからご指導のほどよろしくお願いいたします。



令和7年度 資格取得者

令和7年度資格試験に以下の方が合格されました。おめでとうございます。

RCCM（農業土木）	北部事務所	岡部 真一
農業土木技術管理士（2次）	北部事務所	山本 勇樹
測量士補	換地測量課	清家 大志
1級土木施工管理技士	南部事務所	西川 真
2級土木施工管理技士	玖珠町農林課	井上 智啓
	玖珠町農林課	小幡 光弘
	北部事務所	小野 光佑
	南部事務所	藤原 大輔
	北部事務所	束野 克実
	北部事務所	藤澤 匠真
	農村整備課	甲斐 颯人
	中部事務所	幡手 幹也
	西部事務所	有永 望叶
2級土木施工管理技士補	南部事務所	児玉 堅
	豊後大野市農林整備課	小野 紀一
	北部事務所	北田 圭佑
第一種衛生管理者	中部事務所	野元 由翼
	総務課	中村 貴輝

※所属は令和8年3月31日時点

本会では2級土木施工管理技士の取得を目指し、昨年度は6月から10月の期間、年5回、本会有資格者等が講師となり土木一般から環境保全対策の一連の内容、並びに経験記述の添削など行っています。

令和7年度は、市町村土地改良関係職員の参加もあり見事合格されています。

本年度も引き続き勉強会を開催していきますので、参加を希望される会員の方は、整備部農村整備課までご連絡ください。

第12回大分県土地改良振興大会開催のお知らせ

第12回大分県土地改良振興大会の開催

～「^み水」「^ど土」「^り里」の資源を、次世代へ～

昨今の農業・農村においては、食料安全保障の議論が高まりつつある中、食料自給率強化に向け、その基盤づくりを担う土地改良分野への期待は大きくなるものと受け止めています。

しかしながら、過疎化や高齢化、担い手不足等による地域活力の低下に加え、大規模地震や気候変動による豪雨災害の多発など、多くの課題が山積している状況にあります。

また、本県においては、中山間地域が7割を占め、数多くの水路トンネルや「ため池」等の維持管理に多大な労力とコストを費やしています。更に、農業水利施設の大半が更新時期を迎えている状況下で、国土強靱化の観点から早急な更新整備と防災・減災対策を図るとともに、集落機能の維持に努めていかなければなりません。

このような背景から、『「水」「土」「里」の資源を、次世代へ』の思いを共有する県下の土地改良関係者参集のもと、農業・農村の持続的発展と、更なる農業農村整備事業の推進を目的として、12回目となる「大分県土地改良振興大会」を開催します。

主 催 大分県土地改良事業団体連合会・大分県農業農村整備事業推進協議会・大分県土地改良区理事長会

日 時 令和8年8月27日（木）10：00～

場 所 大分市「iichiko音の泉ホール」

内 容 主催者・来賓挨拶、意見発表「地域の声」、大会決議採択 他

水土里ネット大分のInstagramはこちらから！！
 フォローをお願いします！！



@MIDORINET_OITA

水土里ネット大分のHPはこちらから
<http://midorinet-oita.or.jp/>



水土里ネット大分



大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号
 TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F）
 TEL097-536-3921 FAX097-533-8955
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3
 TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2
 TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2
 TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

